

# 野生イノシシにおけるアフリカ豚熱防疫措置の具体化に関する緊急実証研究

研究期間：令和5～7年度、令和5年度経費限度額：30,000千円

## ポイント！

＜豚・イノシシにおける**最強・最悪の伝染病であるアフリカ豚熱**対策は急務。特に**野生イノシシ対策の具体化が急務**。＞

- **迅速な防疫措置の開始**のためには、野生イノシシの**サーベイランス検査における様々な問題解決**が必要。
- **確実な感染拡大防止措置（防疫措置）**には、**死体対策（探索・処理）の検証・実証**が必要。
- **全国の防疫措置の高位平準化による国家防疫の強化**には、**実態調査等を踏まえた妥当性検討と普及研究**が必要。

## 現状・課題

- ・アフリカ豚熱が世界的に感染拡大する中で、新型コロナウイルス感染が落ち着き、海外からの旅行者が増加。**アフリカ豚熱対策の具体化が急務**。
- ・アフリカ豚熱は豚・イノシシに**伝染性が強く、致命的**であり、有効で安全な**ワクチンが実用化されておらず、豚における最強・最悪の伝染病**とも呼ばれている。
- ・野生イノシシで感染が拡大すると、飼養豚への感染リスクが高まるため、**野生イノシシ対策が極めて重要**。
- ・**短時間で死亡、ウイルスは死体中でも長期間活性を保有**する。したがって、特に発生初期において**野生イノシシの感染死体を迅速・安全に処理する防疫対応が必要**。
- ・一方、迅速な防疫対応には、**我が国への侵入を存速に検出し、感染範囲を特定**するために、**サーベイランスが重要**。しかし、特に死体の検査は、腐敗等により**採材及び検査が困難**な場合が多く、**検査系のさらなる改善が必要**。

## 必要な研究

アフリカ豚熱の防疫措置の具体化に資する実証的研究が急務

- ①野生イノシシの**死亡個体**の耳片由来材料（時間が経過したもの）を用いた**アフリカ豚熱及び豚熱の高感度検査法の開発・実証**
- ②野生イノシシ**捕獲個体**の止め刺し後の死体からの**微量血液採取・検査法の開発・実証**
- ③山林等の搬送が困難な場所での**野生イノシシの死体処理方法についての検証を野外及び実験室内での実証**
- ④各都府県での**防疫体制確保・検査体制に関する実態調査**により**妥当性を検討し、これに基づく検証・分析、さらに普及研究**

## 研究成果の活用

- ・野生イノシシのアフリカ豚熱サーベイランスの強化及び防疫措置の具体化
- ・防疫措置の方針・具体的措置を示す「基本方針」における防疫措置内容の検証及び反映
- ・各都府県での具体的措置の社会実装後の普及調査・検査状況に基づく検証・普及推進